

横芝町の人口と世帯

<4月1日現在>

人口 12,818 (-31)
男 6,214 (-14)
女 6,604 (-17)
世帯数 3,157 (-8)
()内は前月比



広報

横芝

第116号

昭和49年5月1日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



栗山川汚染防止対策協

不法投棄でよごれた 栗山川を昔の清流に 二日がかりのゴミ掃除

栗山川汚染防止対策協議会(伊東巖会長)では、去る四月十七日横芝町役場で栗山川の汚染防止について会議を開催、河川及びその周辺の一せいで掃除を実施することになりました。同協議会は、栗山川の汚染が目立って来た四十七年に河川周辺の一市六町一村で結成されました。

今迄も水質調査や不法投棄者の

監視をはじめ、水面の浮游物の除去など河川の水質、環境保全につとめて来ました。しかし、不法投棄はあとをたたく、協議会が水質や不法投棄物の調査をしたところ驚くほどのゴミの山がつくられていました。このため、関係町村が協議し、これから雨期を迎えるとこのゴミは腐敗し、雨水にとけ込み、河川に流れ出てますます水質を低下する原因になるため、早期にこの掃除をしようとなつたわけです。

横芝町では、特に汚れのひどい栗島橋(於幾)と木戸橋(屋形)附近の掃除をすることになり、四月二十六・七の両日堤防のゴミ掃除が行われました。

また、今年の一月と三月に実施された同協議会の水質検査結果を見ますと、一月の調査では栗島橋で三万二千、木戸橋で五万三千(水1ml中)の大腸菌群が検出されました。

この大腸菌群は飲用水に流れ込みますと、慢性腸炎や急性腸炎をおこす恐ろしい病原菌です。

このような病原菌の流入・発生を防止し、昔をしのばせる清流をとりもどすため私達一人一人心がけましょう。

新年度の予算は 初めて十億円を突破

昭和四十九年度予算は三月の定例議会において議決され、執行に移されておりますが、その概要についてお知らせします。(新年度予算の大綱と主な事業については四月一日発行の広報二一五号を参照してください)

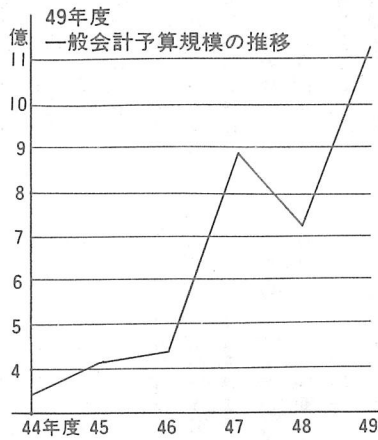
一般会計は 前年を四億上回る

昭和四十九年度の一般会計予算は、初めて十億円を突破し十一億四、五二〇万円(第一図)になり前年度より四億二、七二〇万円(六一・八%)の伸びを示しております。また、過去五年間の予算規模の推移は第二図のとおりです。歳入面では、町税が二億一、〇七、七四四千円(一八・四%)で、町民一人当りの税負担額は、一万六、四五六円となっております。地方交付税が二億九、四五〇万円(二五・七%)で町税を八、三七二万六千円(七・三%)上まわっておりです。その他に、国・県支出金が二億九、六二八万六千円(二五・九%)、町債が一億九、〇三〇万円(一六・六%)、繰入金、諸収入等から七、三二二万一千円(六・四%)となっております。

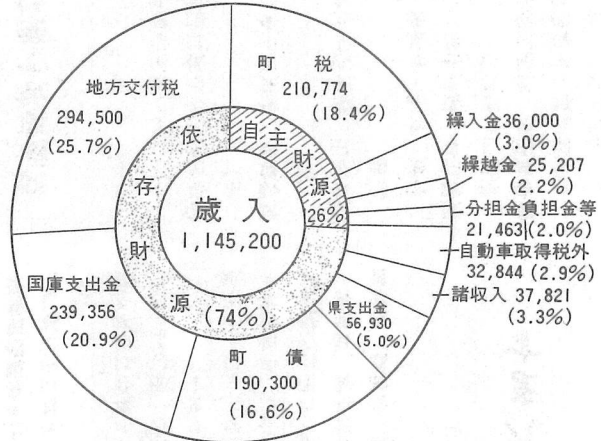
このように、町の財政は町民の皆さんが直接又は、間接に納める税金と国県からの交付金や補助金借入金などで運営されています。歳出面の主な事業については、既に町長の予算編成方針で述べたように、福祉の増進、教育の振興産業の開発を施政の根本方針として、町道の整備、空港騒音関連事業である横芝小学校の校舎増築体育館の改築、大給保育所改築、上堺地区に共同利用施設の建設などが予算計上されています。

国民健康保険特別会計予算は、総額で二億六九万五千円で歳入

第2図

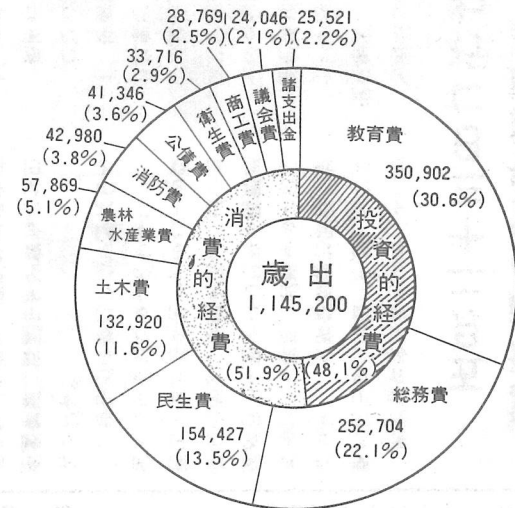


第1図 (単位千円)



国民健康保険 特別会計

面では、国保税が八、二六一万九千円で三九・九%、一世帯当りの年間税負担額は、三万五、八二二円となり、この他に国庫支出金が一億八七〇万円と五二・五%を占めております。前年当初より六、一八二万五千円で四二・六%と大中に増加しております。この主な要因は今年二月の医療費引上げ(二七・五%)によるものです。



国民保養センター 特別会計

国民保養センター特別会計予算は七〇一萬四千円が計上されています。

有線放送電話 特別会計

特別会計

有線放送電話特別会計予算は、二、二九二万八千円が計上され前年度より一四・七%増加しています。これは、人件費などのアップ

自主財源Ⅱ町税、使用料、手数料などで町みずから徴収した財源をいいます。依存財源Ⅱ国、県等から交付される財源をいい地方交付税、国庫支出金、県支出金等をいいます。投資的経費Ⅱ道路、学校などの普通建設事業、災害復旧事業などに投資する経費消費的経費Ⅱ人件費、物件費、建物等の維持補修費等で毎年きまって支出される経費

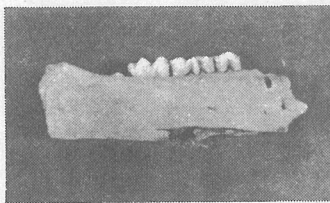
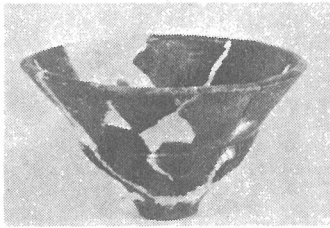
町史シリーズ①

貝塚文化 —縄文人の食生活—

「横芝町史」の編纂事業も、町民各位のご協力を得まして、いよいよ九月上旬発行の運びとなりました。そこで編纂室では、町史の「みどころ」となる「古代のふるさと」について、三回の連載でそのダイジェスト版を計画してみました。

—郷土の縄文遺跡—

下総台地を刻む栗山川溪谷は、谷内の標高も著しく低く、五M等高線は遠く多古町北方にまで遡り、原始時代には海水の浸入をみて複雑な海岸線をもった奥深い海湾であったと考えられています。洪積台地の周辺にひろがる遠浅で波静かな入江の海は、貝と魚の宝庫でした。そのような海の幸を意欲的に利用し、土器をはじめとする道具や生活技術を創造して、縄文文化がおこったのです。



姥山貝塚の出土品
(上—姥山Ⅱ式土器
下—獣骨 (イノシシ))

当時の海湾の汀線にそって「貝塚」など縄文遺跡が分布するわけですが、昭和四八年度の調査（註1）によると横芝地方の縄文遺跡は四二か所（貝塚一一・遺物出土地五・散布地二二・包含層四）を数え、県下でも有数の遺跡地帯を形成しています。この遺跡群は早くから注目され、青木謹爾・鈴木正隆・鋸田欣治・清水浦次郎など諸氏が調査をすすめ、昭和三〇年以降、清水潤三・鈴木公雄両氏を中心とする慶応義塾大学の学術調

査が実施され、ひろく学界に報告（註2）されました。代表的なものとしては次の四遺跡があげられます（付図参照）

- 1、木戸台貝塚（中・後期）
- 2、牛熊貝塚（後期）
- 3、鴻ノ巣貝塚（中・後期）
- 4、姥山貝塚（中・後・晩期）

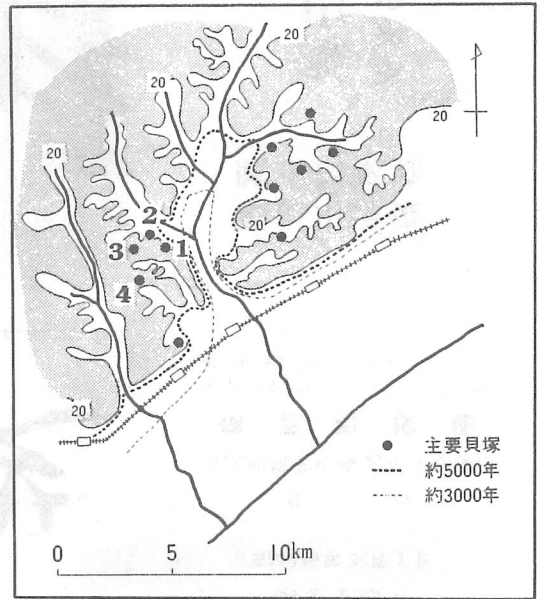
いずれも五〇〇〇〜三〇〇〇年前の縄文遺跡ですが、殊に姥山貝塚からの出土品は質量ともに豊富で、現在、鈴木公雄氏によって晚期縄文土器の比較研究がすすめられつつあります。今後の地域研究の中で、さらに新しい遺跡の発見が期待されています。

—縄文人の食糧—

波静かな入江の海と、台地をおおう照葉樹林の発達は、そこに住む縄文人たちの漁撈・狩猟活動に豊かな獲物を提供してきました。貝塚は共同体（集落）の「ごみ捨て場」の跡であり、多くは食用にした貝殻の積ったものです。そこを発掘することで、当時の食料について知ることができます。今までの調査成果を整理してみると、横芝地方の縄文人は次のような食糧を採取して生活していたようです。

- ①貝類…チョウセンハマグリ・ハマグリ・シジミ・ダンペイキシヤゴ・アサリ・カキ・マツカサガイ
- ②魚類…クロガイ・タイ・スズキ
- ③獣類…イノシシ・シカ・サル・タヌキ・イヌ・ウサギ・アナグマ

牛熊・姥山など加曾利B式の遺跡は獣骨を大量に出土し、魚類はクロガイ・スズキが圧倒的に多く、その漁撈は栗山川溪谷内において行われ、外洋へ進出することはなかったと考えられます。貝塚からの出土物をみると縄文人の食料は「動物食」であったと思われるが、やはり主体はドングリ・トチ・クルミなどの「植物食」であったといわれ、各地の遺跡で堅果類・パン状炭化物など植物の遺存体が発見されています。



栗山川溪谷の主要貝塚と当時の海岸線

—充実した原始・古代篇—

「町史」の原始・古代篇は、考古学者の川戸彰先生が執筆されましたが、慶大研究室のご好意で貝塚資料が全面的に公開され、今までにない充実した内容になるものと期待されています。また清水教授の「古代文化」に関する特別寄稿もあり、古代のふるさとと復元が、「町史」の大きな「みどころ」となりそうですので、ご期待下さい。

【註】

- ①「横芝町文化財総合調査報告1」（昭和48文化財紀要）
- ②清水潤三「千葉県栗川溪谷における貝塚の地域的研究」（史学三二の一—四）
- ③鈴木公雄「姥山Ⅱ式土器に関する二三の問題」（史学三七の一）ほか

（文責・町史編纂室）

自立経営の農家育成目指し 農業振興会が発足しました

去る三月六日横芝町農業振興会（伊藤一会长）が結成され発足しました。この会では、町の主産業である農業について、新しい知識や技術を修得するための視察研修や専門講師による講習会、あるいは協業化の方向づけをするための調査、技術導入のための調査及び研究会などを行ない、生産性の向上と農業の近代化を推進し、もって自立経営農家の健全な発展と町産業の振興を図ることを目的として結成されました。

この振興会には、会員の皆さんが専門的な分野で研究活動をしていただけるように農政、園芸、果樹、梅林、煙草耕作、畜産、養蚕青年、婦人の九つの専門部会が置かれ部会ごとの専門研究が行われます。また、今日の激変する農業情勢に対応するため農業振興会では今年度以下のような研修や調査研究を行うことにしています。

農業祭の実施

農産物共進会、農業大学経営改善実績発表会

農振地域整備計画の事業推進に関する調査研究

産業廃棄物の処理に関する調査研究

専門部会組織の充実強化推進

農家意識調査の実施

情報の提供

会報の発行、資料の配布
以上のとおりですので、自立経営を目指す農家の皆さんには多くの専門部会に参加されますようおすすしめします。加入の申込は産業振興課で扱っております。

技能検定が行われます

1 実施するのは
一級の技能検定は労働大臣、二級の技能検定は都道府県知事が行なうものですがいずれもその業務を千葉県技能検定協会に委任しております。

2 実施職種は

製鋼、鑄造・鍛造機械加工、金属プレス加工、鉄工、板金、電気

総務員芳名

（○印は特別総務員）

大総地区	木戸台	町原	小堤	寺方1	寺方2	曾根合	於幾	坂田	取立	長倉	姥山	遠山	中台	牛熊	谷台	横芝地区							
伊藤博	菅沢正	伊藤恒	八角喜久夫	実川良夫	浅野義雄	桜井定夫	越川好夫	河野守	吉川義男	堀越四郎	伊藤俊治	鈴木信夫	行方甲夫	萩原正	栗山	○斉藤勝男							
上町1	上町2	上町3	上町4	本町1	本町2	本町3	本町4	古川1	古川2	古川3	古川4	古川5	古川6	古川7	古川8	古川9	古川10						
久保田貞雄	篠原一正	篠崎敏夫	平山敬正	小堀四郎	加藤栄	潮来信明	大木藤樹	大木和雄	長谷川重郎平	石井千秋	鈴木正志	大沢順司	熱田辰夫	井上治郎	水野忠一郎	越川辰男	小川輝雄	宮永利雄	鳥喰沼	鈴木幸平	伊藤章	海保武徳	
栗山1	栗山2	栗山3	栗山4の1	栗山4の2	東部	東部	東部	東部	宮脇	南部1	南部2	四五会	四六会	TCC	鳥喰新田	鳥喰上	鳥喰下	鳥喰沼	鳥喰沼	鳥喰沼	鳥喰沼	鳥喰沼	鳥喰沼
若梅光純	鈴木藤太郎	秋葉剛	加藤信慶	伊藤正雄	鈴木源策	鬼島康雄	沢田弘	寺本茂一郎	小郷幸雄	早川富三	吉沢武男	林国男	木下広喜	杉野千代美	実川長一郎	小関一郎	斉藤利吉	鈴木幸平	鈴木幸平	鈴木幸平	鈴木幸平	鈴木幸平	鈴木幸平
宮前	荒場	三本松	立合1	立合2	南川岸1	南川岸2	新島	道貫	新田	本郷	荒場	三島	北清水	伊藤忠治	渡辺春雄	伊藤幸夫	川島英夫	川島徳夫	川島徳夫	川島徳夫	川島徳夫	川島徳夫	川島徳夫

めっき、アルミニウム陽極酸化処理、仕上げ、工具研削、電気機器組立て、車両装、船舶装、光学ガラス研磨、婦人子供服製造、布はく縫製、木工機械調整、木型製作、木工、プラスチック成形、及び、左官、築炉、ブロック建築

タイル張り、畳製作、熱絶縁施工
構造物現図製作、化学分析、印章調刻、いす張り、表具、塗装及び
広告美術仕上げ等を実施いたします。

3 実施日程は
昭和三十九年5月7日（火）から
昭和三十九年5月7日（火）から

昭和三十九年5月21日（火）まで
昭和三十九年6月17日（月）まで
昭和三十九年6月30日（日）から
昭和三十九年9月29日（日）まで
昭和三十九年9月22日（日）及び
昭和三十九年9月29日（日）及び
昭和三十九年10月29日（火）

昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）

昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）

昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）

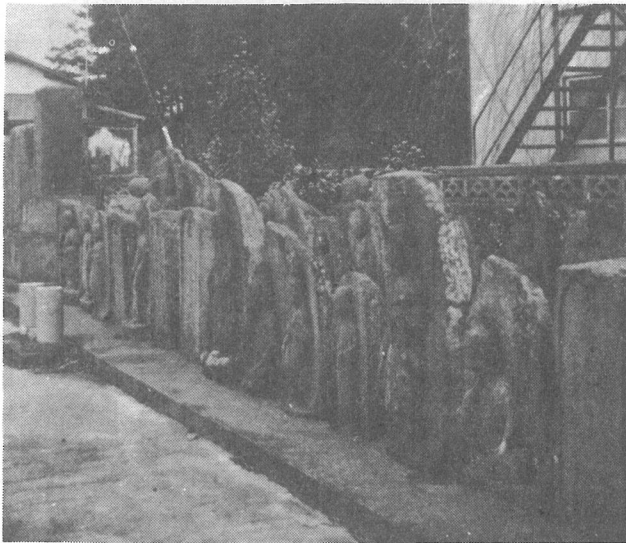
昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）
昭和三十九年10月29日（火）

横芝の碑(その十九)

へ或信心家の奇篤な行為

国道一二六号線本町交差点附近の旧道を右に曲って両国新田及於幾の方面に向い、三百メートル程進みますと、東部耕地整理組合の用水路と直角に交ります。この橋を渡ってすぐに右折し、流れに従って三十メートル位下りますと右手にまた橋が架っています。この橋を渡って更に十五メートル程進みますと右側にブロック塀に囲まれて、墓石、石仏、碑等が群立しているのに気がつきませす。墓石が建っているのに全く陰気さがなく、むしろ和やかな明るさを感じられます。それもその筈で、此々は墓地でもなく、又寺院跡でもないのです。それぞれの石に刻まれている文字も鈴木、伊藤、吉田、実川と多種多様で、年号も宝永あり、元禄あり、享保あり、正徳ありといった具合でこれも千差万別です。中には、まだ栗山川に渡場があった頃に伊勢参り等の入々が建てたという道標や、本紙四一年九月号所載の「サイカチの木」で紹介したことのある古川の地蔵様の由来を刻んだ碑等も建っています。

すでにお気づきの方もあると思

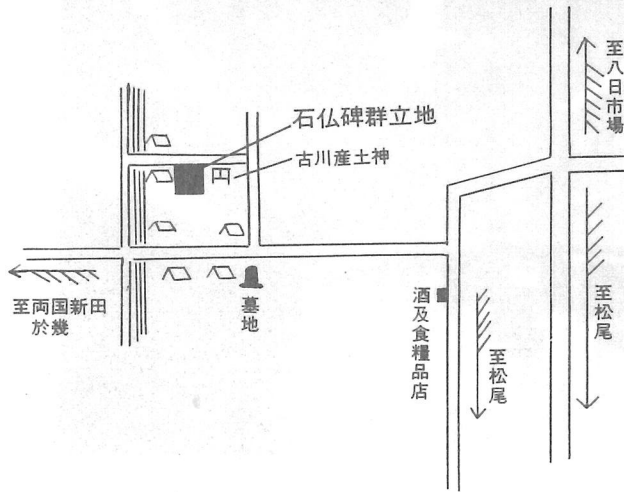


いますが、この石仏や碑を集めたのは、古川の地蔵さんと呼ばれている鈴木昇さんの奇篤な行為によるものです。鈴木さんの先祖は名主様でしたが、市原郡から勧請したお地蔵尊の霊験から代々信心家が多く、特にこの鈴木昇さんは、古川を中心にして、隈なく歩き、道端に埋れかかったり、山の中に倒れたままになっていたたりした石仏、墓石、碑等をこの自分の所有

地に安置して、毎年紀りを怠らないということですが、

写真は、群立する石仏や墓石の一部で、この反面する方向に古川の地蔵様霊験記を刻んだ碑等が建っています。最近不心得者が庭に飾ろうとして、或夜中ここから石仏を持ち出そうとしたところ、入口まで軽く運べた石仏が急に重くなったので、驚いて元の所へ戻しましたが、それから三日位熱が出て起きられなかった、ということですが、これはきつと寒い夜中に冷たい石仏を抱えたりしたので汗をかいて風邪でもひいたのでしよう。

(養護老人ホーム小沢所長寄稿)



5月予防接種予定

実施日	場 所	種 別	該 当 者
8	横 芝 町 役 場	ポリオ生ワク	S.48.7.1 ~ S.48.12.31
9	大 総 小	破 傷 風	
10	横 中	日 本 脳 炎	全生徒
14	横 小	"	全児童
15	上 小	"	"
16	大 小	"	"
17	横芝第1・2保育所	"	保育園児
21	フタバ保育園	"	"
22	横 芝 町 役 場	"	一 般
23	上界公民館又は小学校	"	一般・保育園児
24	大総保育所又は小学校	"	一般・保育園児
29	横 芝 町 役 場	"	一 般
30	上界公民館又は小学校	"	一般・保育園児
31	大総保育所又は小学校	"	一般・保育園児

お詫び

四九年四月一日町発行の広報紙第四面中選挙の投票所増設記事の中で第四投票所投票区のうち仲和会と四六会の掲載を落とししましたので本紙で訂正し謹んでお詫びいたします。

広報係



危険信号です

豚コレラの予防注射もれが増えています

最近、豚コレラに感染しやすい豚が増えています。

東部家畜保健所が管内のと場・仔豚市場・繁殖豚飼養農家など百頭について調査したところ、コレラに対する抵抗力が非常に弱く、感染しやすい危険な状態の豚が多いことがわかりました。今年二月から三月に神奈川県下で四千頭余りも大発生した豚コレラの発生状況は、一貫経営という理由から計画的な予防注射をしておらず、未注射豚に最初の発生がみられました。A養豚場(神奈川県)の例では

飼養頭数五、九五七頭のうち三、六三〇頭が死亡又は、殺処分されております。さいわい千葉県下では、昭和四十四年以降発生しておりませんが、と畜場でと殺される豚の抗体保有状態(病気に対する抵抗力)が年々低下して発生の危険性が高まっていく傾向にあります。豚コレラという病気は「過去の病気」と考えることなく養豚農家全員が協力して次のことを励行し、家畜の病気を追放しましょう。

●予防注射は必ずしましょう。
●畜舎とその周囲を定期的に消毒

建設のあゆみ

4月～5月

完成した事業

- ①道路舗装工事
 - 新島線(道真区間) 749.6 m
 - 古川線 410.0 m

着工及び工事中の事業

- ①建築工事
 - 特別県営住宅新築工事 20戸
 - 大総小学校 1,719.55㎡
 - 防音改築工事
 - 横芝町共同利用施設新築工事 583.465㎡
- ②道路舗装工事
 - 中台～牛熊線 937m
 - 栗山南部 500m

しましょう。●出入口には消毒槽を置き履物、手指の消毒を励行しましょう。●外来者は畜舎内に立ち入らないようにしましょう。
●異常家畜の早期発見に努め、まず隔離舎に移して観察しましょう。
●家畜が原因不明でたおれて死んだり、異常を認めたときは獣医師家畜保健衛生所等にご相談下さい。

時効になった保険料が納められます

国民年金の保険料は、二年を過ぎると時効によって納められなくなりませんが、本年一月から昭和五十年十二月までの二年間に限り、時効の保険料が納められるようになります。この時効になった未納期間の保険料は一月につき九〇〇円です。

これは国民年金の老令年金が別表のように一定期間以上の納付済(又は免除)期間を満たしていないと支給されないため、過去の保険料を納めなければ老令年金が受けられなくなっている人のためにとられた特別な措置ですので、未納期間のある人は、この機会にぜひ納めて年金の受給権を確保しましょう。

老令年金を受けるための最低必要期間

生	年	月	日	期 間
T	5. 4.	1	以前生	10年
	5. 4.	2	～ T 6. 4. 1	11
	6. 4.	2	～ 7. 4. 1	12
	7. 4.	2	～ 8. 4. 1	13
	8. 4.	2	～ 9. 4. 1	14
	9. 4.	2	～ 10. 4. 1	15
	10. 4.	2	～ 11. 4. 1	16
	11. 4.	2	～ 12. 4. 1	17
	12. 4.	2	～ 13. 4. 1	18
	13. 4.	2	～ 14. 4. 1	19
	14. 4.	2	～ 15. 4. 1	20
	15. 4.	2	～ S 2. 4. 1	21
S	2. 4.	2	～ 3. 4. 1	22
	3. 4.	2	～ 4. 4. 1	23
	4. 4.	2	～ 5. 4. 1	24
	5. 4.	2	以降	25



横芝句会四例会

- 土屋 栗水
- 石川の彫りの風化や花吹雪
- 水尾引きて芥の走る花嵐
- 若梅あやめ
- ほお撫せる風も桜の匂いして
- 藤代 ゆう
- 掌に受けて児らの華やぎ花吹雪
- 宇都木吐句志
- 花の両汽車弁膝にあたたかし
- 安井ゆずる
- 花に疲れ駅のベンチにどかと掛け
- 奥山 萌古
- 花鳥賊の露店に申ざし買われけり
- 大石 秋羅
- 土屋 栗水
- 犬も来て花の団らん深めたり
- 原 ひさし
- 浮かぶ花鯉音立てて吸い込めり
- 木下石果子
- 花疲れ靴の中にも花びらが
- 佐久間実枝子
- 招かざる客にとまどう花の寺
- 加藤 庄長
- 花吹雪く栗山川に舟欲しや
- 佐久間久子
- 春の川瀬のねじれつつ光りつつ
- 次回
- 五月十一日(土)午後一時
- 柏餅 立夏 通し五句